

令和 6 年

6月10日

ふれあい通信

第 6 号



雨の日の交通事故防止

<ドライバーのみなさんへ>

速度を落として、車間距離を長くとりましょう

雨のときは路面が滑りやすくなり、速度が出ていると**停止距離が長**くなります。そのため、晴れのときより速度を落とし、車間距離を長くって走行しましょう。

普段よりもスピードを**2割減**、車間距離を**2倍**を目安に

- ◆ 雨が降り始めた直後の道路（「ホコリ」などが浮いて滑りやすくなる）
- ◆ マンホールや溝のふたなどの金属部分
- ◆ 横断歩道や路側帯などの白線

などが特に滑りやすいので、速度をいつもより抑え慎重な運転を心がけましょう。



視界をよくしましょう

「視界が悪いな」と感じたら、**早めにライト**をつけましょう。雨の日の視界は暗いだけでなく、ワイパーの作動範囲に狭められ、**周囲の状況判断**ができにくくなります。

また、雨のときは**フロントガラスがくもりやすい**ため、エアコンやデフロスターを作動させたり、くもり止めスプレーなどを使用したりして、視界をよくしましょう。

窓ガラスやミラーに雨滴が付くと視界が悪くなるので、運転前に窓ガラスの汚れを取り除いたり、撥水剤等を塗っておきましょう。



「急」のつく運転は避けましょう

雨のときの**急発進・急ハンドル・急ブレーキ**は、横滑りなどを起こしやすいため、そのような運転は避けましょう。

ブレーキは、エンジンブレーキを使用したり、数回に分けてかけるようにしましょう

<歩行者・自転車のみなさんへ>

車を意識して、安全に通行しましょう

雨天時、ドライバーの視界は悪くなります。

「相手の車からは見えていないかもしれない」と考え、無理な横断等はやめましょう。また、ドライバーに見つけてもらうために、明るい色の傘や服装(レインコートなど)で目立つ努力をしましょう。

自転車の傘差し運転はやめましょう



傘差し運転
は違反です

傘差し運転は、片手運転になり、正確なハンドル操作もできず大変危険です。不安定になり、制動距離も長くなります。

突然の豪雨に遭遇したら・・・

Point

① 河川沿いを避け、高台に避難

氾濫のおそれのある河川沿いの道路は避け、できるだけ高台に避難しましょう。



② 冠水路は絶対に通行しない

冠水路を強引に通行しようとするとうエンジンが止まる可能性があるため、通行しないようにしましょう。



そのメール、詐欺じゃない？

- ・ 架空の事実から金銭を要求される詐欺を架空料金請求詐欺と言います。
- ・ 実在する電話会社を騙るメールであっても、絶対に連絡をしないでください。
- ・ 身に覚えのない内容(料金未納、法的手続き等)は、一人で悩まず、**家族や知人、警察に相談を!**



施設の窓口に掲示するなど、必要な方々にご覧いただけるようご協力ください。

FAX配信からインターネットのE-mail配信に変更のご希望があれば、下記にご連絡ください。また、県警HPでもご覧いただけます。

滋賀県警察本部交通企画課 高齢者交通安全推進室 ふれあいチーム

TEL 077-522-1231 (代表) Eメール x0022@police.pref.shiga.jp